

候補者のツイッターが選挙結果に及ぼす影響

—2021年東京都議会議員選挙データによる分析—

経済学科 4年 根元ゼミナール

狩野 陽輝

要 旨

候補者のツイッター利用は選挙結果にどのような影響を及ぼすのだろうか。平成25年のインターネット選挙運動の解禁とSNSの普及に伴い、SNSを利用する候補者が増加している。先行研究では、候補者ウェブサイトと選挙の関係や候補者によるツイッター利用とその候補者の特徴に関することが明らかにされている。しかし、ツイッターが選挙結果に及ぼす影響を明らかにした研究はなかった。

そこで、本研究は候補者によるツイッター利用が選挙結果に与える影響を明らかにするために、2021年東京都議会議員選挙の候補者を対象に、統計手法を用いて分析を行った。

その結果、選挙においてツイッターを利用している候補者ほど、また、そのフォロワー数が多いほど選挙に勝利する可能性が高くなるということが明らかになった。

今回得られた結果を踏まえて、今後選挙を控える政治家はツイッターを上手く駆使した選挙活動を行い、フォロワー数を増やすことで当選の可能性が高まるのではないかと考えられる。

しかし、単にフォロワー数が多いから、選挙に勝つ可能性が高くなるわけではなく、別の要因がある可能性がある。今後は、選挙運動期間中のツイート数、リツイート数、いいね数など様々な要因を考慮して分析を行う必要がある。